



前田利常画像(部分) (那谷寺蔵)



小松城本丸櫓台石垣



小松天満宮本殿・拝殿



観音下石切り場



初代徳田八十吉作 九谷松鶴文九角大皿



八日市地方遺跡出土品



那谷寺境内(奇石)

特集 | 守り、未来へつなぐ こまつの文化財

市では歴史文化遺産を適切に保存し未来へ継承していくため、小松市文化財保存活用地域計画を作成し、今年の7月に文化庁から認定を受けました。地域総がかりで、守り生かす体制づくりを進めていきます。

問い合わせ 文化振興課 ☎24・8130

文化財保存活用地域計画とは

平成30年度の「文化財保護法」改正以降に制度化され、市町における文化財の保存と活用に関して、法律に基づいて作成された総合的な計画です。

これまで、指定を受けた建造物や祭りなどの文化財を単独で保護してきました。しかし、この計画を作成することで、個々の指定文化財だけでなく、市民が守り伝えたいと思う歴史文化遺産を含めて、地域全体で保存・活用に取り組むことが可能となります。また、それにより地域の特徴を生かした地域振興や文化財の継承につなげることができます。

小松版!

文化財保存活用地域計画

市では、令和4年度から3年間にわたり、文化財調査の整理や地域への聞き取り調査、ワクショップなどを実施し、多様な立場の意見を集めました。その結果として、約1700件の未指定文化財の抽出ができたことや、文化財の保存・活用についての様々な課題があることが分かりました。

これらの成果から、「ものづくりと交流の物語をつむぐまち・小松」を将来像に掲げた「小松市文化財保存活用地域計画」を完成させました。今後は、市民や大学などの研究機関と連携・協働しながら、歴史文化を生かしたまちづくりを進め、本市の文化財を未来へ継承していきます。

小松市文化財 保存活用地域計画認定 記念フォーラム

参加
無料

文化財に携わる多様な登壇者が繰り広げるパネルディスカッションを通じて、歴史文化の魅力発信から、文化財継承、地域総がかりでの取り組み方法を探ります。

とき 令和8年1月25日(日) 13:30~16:00
ところ サイエンスヒルズこまつ

定員 80人程度(要予約)

申し込み 当日までにこまつ電子申請サービスから



登壇者

小松市長
宮橋 勝栄那谷寺住職
木崎 韶雄(株)こまつ振わい
センター
代表取締役
小林 太一公立小松大学
国際文化交流学部
教授
久谷 茂樹九谷焼作家
浅藏 一華文化振興課
下濱 貴子

計画の中身をのぞいてみよう!

魅力的な6つのストーリー

地形と歴史文化の結びつきをひもとき、小松の歴史文化を特徴づける「ものづくりと交流」をテーマとして6つのストーリーを作りました。

- 里山の資源を活かした珠玉のものづくり
- 交流拠点を行き交う人と物資
- 加賀国府をめぐる交流の物語
- 信仰の道と交流～白山信仰と一向一揆～
- 前田利常が拓いたものづくりと交流 ひら
- ものづくりと交流を支えた水郷と里山の営み

2つの歴史文化遺産保存活用区域 「西尾地区」と「那谷地区」

この2地区は特に歴史文化遺産が集まり、地域の産業活動により形成された石の文化を表す石切り場などの景観があります。日本遺産「珠玉と歩む物語 小松」の核となる地区でもあり、地区ごとに課題の抽出とその課題に対する取り組みを設定しています。

もっと計画内容を知りたい人は
市ホームページをご覧ください。

